

- 主な内容
- 平成29年度監視伝染病発生状況について ……1
 - 牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）を予防しましょう ……2
 - 海外ではアフリカ豚コレラの感染が拡大しています!! ……3
 - 暑熱事故の防止対策について ……4
 - 毎月1日は、「消毒・点検の日」です！ ……6



平成29年度 監視伝染病発生状況について

大家畜課 病性鑑定担当

管内では、家畜伝染病はヨーネ病4頭、届出伝染病は牛白血病115頭、牛ウイルス性下痢・粘膜病17頭、牛丘疹性口炎5頭、馬鼻肺炎4頭などが発生しました（下表）。特記事項を以下に記載します。

ヨーネ病：平成29年度の定期検査で患畜が確認された農場で3頭、28年度の発生農場の清浄性確認検査で1頭が続発しました。

なお、県外導入牛の遺伝子検査で定性陽性牛が584頭中3頭で摘発されました（患畜ではないため計上せず）。今後も検査の継続が必要です。

牛ウイルス性下痢・粘膜病：17頭の発生のうち、1酪農場で10頭の急性感染例が発生し、同居牛の検査で更に持続感染牛2頭が摘発されたため、飼養牛のワクチン接種を行いました。本病の発生予防と早期発見のために、飼養牛全頭への定期的なワクチン接種による免疫賦与の他、流産牛や虚弱子牛の速やかな検査が必要です。

牛白血病：前年度と比べ、と畜場での摘発は11頭減少し、病性鑑定による診断が47頭増加した結果、発生頭数は36頭の増加となりました。本病は感染牛の血液や乳汁を介してまん延するため、直腸検査手袋の連続使用を避ける、アブやサシバエの吸血による伝播防止、感染牛と非感染牛の分離飼養などの対策の継続が必要です。

牛丘疹性口炎：2農場の計5頭の牛に鼻鏡部の水疱あるいは舌にびらんが確認され、病変部から同病ウイルスの遺伝子が検出されました。

口蹄疫の類症鑑別として重要な疾病で、発熱、泡沫性流涎、跛行（歩行困難）、口腔内に水疱、びらんなどを確認した際には速やかに当所に連絡願います。

平成29年度 監視伝染病発生状況							
1 家畜伝染病（患畜）							
病名	畜種	用途	全県		管内		備考*
			戸数	頭数	戸数	頭数 市町数	
ヨーネ病	牛	乳用	1	1	0	0	0 県外導入
		肉用	3	11	2	4	2 家畜伝染病予防法5、51条
2 届出伝染病（真症）							
病名	畜種	用途	全県		管内		備考*
			戸数	頭数	戸数	頭数 市町数	
牛白血病	牛	計	162	189	93	115	13
【内訳】		乳用	48	55	24	30	6
		(と地)	(10)	(10)	(5)	(6)	(3) (内数)
		肉用	114	134	69	85	7
		(と地)	(41)	(41)	(19)	(28)	(4) (内数)
牛ウイルス性下痢・粘膜病	牛	計	11 (9)	26 (12)	6 (5)	17 (7)	3
【内訳】		乳用	6 (5)	15 (8)	3 (2)	9 (4)	3 (持続感染4,急性5)
		肉用	5 (4)	11 (4)	3 (3)	8 (3)	2 (持続感染3,急性5)
牛丘疹性口炎	牛	肉用	4	7	2	5	1
カンピロバクター症	牛	乳用	1	1	—	—	—
ネオスポラ症	牛	乳用	1	1	—	—	—
破傷風	牛	肉用	2	2	1	1	1
馬鼻肺炎	馬	乗用	3	4	3	4	1
豚丹毒	豚		1	1	1	1	1 と場摘発
伝染性気管支炎	鶏	肉用	3	301	—	—	—
ノゼマ病	蜜蜂		1	1*	—	—	—

※：群 *管内の診断事例の補足

馬鼻肺炎：平成30年1月から3月に1牧野とその利用農場において、妊娠8～10カ月の繁殖雌馬4頭が本病により流産しました。管内では9年ぶりの発生となります。流産馬の隔離、馬房の消毒、妊娠馬へのワクチン接種を指導しました。本病の予防には、妊娠馬への毎年の計画的なワクチン接種が有効です。

牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）を予防しましょう！

大家畜課 防疫担当

★ BVD-MDって何？

牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）の感染による牛の届出伝染病です。感染牛は下痢や呼吸器症状、妊娠牛の流産、産子の異常を呈します。現在、県内では、同ウイルスの1型と2型のタイプによる発生が認められています。

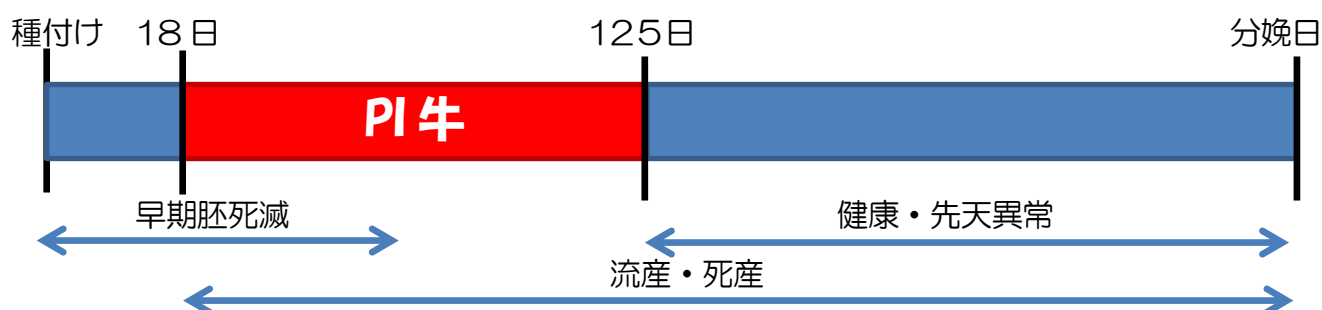
★ ここが問題！BVD

BVDVが感染すると、通常は2～3週間で抗体が作られ、症状は一過性に回復します。しかし、妊娠牛が初めて感染した場合は胎子に感染し、胎齢によって流産や奇形などが起こります。特に、免疫機構が未完成の胎齢18～125日の胎子に感染した場合、生涯ウイルスを持ち続ける持続感染（PI）牛として生まれます。

PI牛は大量のウイルスを排出し、他の牛への感染源となるほか、その産子もPI牛となります。

また、PI牛は発育不良や下痢・呼吸器症状を示すことが多く、血便や口などにびらんができる「粘膜病」を発症した場合は死亡します。

【胎子の感染時期による病態】



★ 対策は？

① 繁殖牛に定期的にワクチン接種し、感染を予防！

ワクチンには生と不活化があります。1型と2型の両タイプウイルスが入っているワクチンを接種しましょう！（生ワクチンは6混、不活化は5混）

●妊娠牛：初年度は不活化2回、翌年から不活化年1回

●繁殖候補の育成・子牛：2か月齢から初回種付けまでに生1回以上

※子牛に接種すると、移行抗体の影響でワクチンの効果が得られない場合があります。

※妊娠牛に生ワクチンを接種すると、ワクチン株によるPI牛を生産する可能性があります。獣医師に相談のうえ、接種しましょう！

② PI牛を農場に入れない！

導入牛、退牧牛などは2週間程度隔離し、異常があれば獣医師の診察を受けましょう。

③ 飼養衛生管理基準を守り、健康に牛を飼う！

海外ではアフリカ豚コレラの感染が拡大しています!!

中小家畜課 中家畜担当

2007年4月にジョージア（グルジア）で発生したアフリカ豚コレラの感染拡大が現在も続いており、我が国への本病侵入のリスクも高まりつつあります。本病を予防するためにも豚の所有者は、発生国の豚肉製品を持ち込まないほか、飼養衛生管理基準の遵守、早期発見・早期通報の徹底をお願いします。

1 アフリカ豚コレラとは？

アフリカ豚コレラ（ASF）はウイルスが原因の伝染病であり、そのタイプは甚急性、急性、亜急性及び慢性と多岐に渡り、致死率も数%～100%と複雑な病勢を示します。また、感染豚で中和抗体が産生されないため、有効なワクチンも開発されていません。今まで日本では発生したことはありませんが、過去に本病が発生した国では大規模な感染豚の殺処分などの対策により本病を撲滅しましたが、養豚業が受けた被害額は膨大なものとなりました。

アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典：USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

2 アフリカ豚コレラの発生状況

本来、アフリカ大陸の野生のイボイノシシとダニの間で往来していた ASF ウイルスが、家畜である豚やイノシシに感染したことで発症が認められるようになりました。まず、1950年代後半からヨーロッパ、中南米の国々で発生が認められるようになり、発生が収まってからもアフリカでは散発を続けていました。その後、2007年4月にヨーロッパのジョージア（グルジア）で発生して以来、2017年にはモンゴル国境付近のロシアの一部で本病の発生が確認され、本病のアジアへの侵入が懸念されています。また、2018年4月にはハンガリーで野生イノシシでの発生があり、同国からの豚、豚肉などの輸入が一時停止となりました。

3 アフリカ豚コレラの伝搬様式

ASF ウイルスに感染した豚の尿や唾液、血液には大量のウイルスが含まれているので、接触感染や吸血ダニを介した感染が成立します。また、本病が国際伝播する大きな要因として ASF ウイルスに汚染された食肉製品の厨芥が挙げられます。感染豚を原料としたハムやベーコンには ASF ウイルスが残存することがあり、2007年のジョージアにおける本病の発生はアフリカ船舶からの厨芥を豚の餌としたことが原因であるとされています。また、人の手により汚染された食肉製品が持ち込まれることで、地理的な繋がりのない遠隔地まで本病が伝播することもあります。

暑熱事故の防止対策について

大家畜課・中小家畜課

気象庁の季節予報（6月～8月）によると、今夏の東北地方の気温は、平年より高くなる確率が高いと予想されており、暑熱事故の発生が心配されます。家畜の生産性を維持するため、健康で快適に過ごせる環境作りが大事になります。以下のポイントに挙げた手法をいくつか組み合わせて、農場に合った対策に取り組みましょう！

【暑熱対策のポイント】

1 畜舎外から畜舎温度を下げる

スプリンクラー等による屋根への散水、屋根への白ペンキ（事例1）・石灰（事例2）塗布、グリーンカーテン（事例3）・寒冷紗（事例4）の設置など

<牛舎の屋根に当たる日光への対策事例>

事例1：ペンキ塗装

畜舎の屋根の塗替えを検討している場合は、白色ペンキを採用すると、効果的な暑熱対策を取ることができます。

経費は、洗浄、錆止め、ウレタン塗装（吹付け、白色のため2回塗り）の全行程で約 1,000 円/m²です。



白色ペンキ塗装した畜舎の屋根

事例2：石灰塗布

石灰を水に溶かして石灰乳を作り、屋根へ塗布します。牛舎では、屋根裏温度：約 15℃低下、畜舎内温度：約 5℃低下といった効果が報告されています。長持ちさせるために、ムラなく塗るのがポイントです！

動力噴霧器で屋根に塗布した場合の経費は、39円/m²と低コストですが、毎年塗布する必要があります。

※屋根の傾斜がきつい場合は、無理せず業者に依頼しましょう。



動力噴霧器による石灰塗装

<牛舎の壁面から入る日光への対策事例>

事例3：アカザを用いたグリーンカーテン

畑などに自生している雑草のアカザを、畜舎東側と南側に移植します。成長が早く、夏季には畜舎屋根まで覆いますが、夏過ぎには枯れるため後処理も簡単です。

注意：風通しを良くするため、下部の枝や葉は切る必要があります。



事例4：寒冷紗の設置

グリーンカーテンよりも手間が掛らないのは寒冷紗です。代わりに「ひさし」や「よしず」等を使用しても効果的ですが、これらの遮光材は自然の風も遮るため、換気の効率が悪くなります。このため、送風装置の併用も含め、設置場所や角度の検討が必要です。



2 畜舎内設備で畜舎温度を下げる

換気扇・扇風機による送風、細霧装置・クーリングパッドによる冷房など

3 体感温度を下げる

毛刈り、飼養密度の低減、家畜への直接散水・ペットボトルクーリング（事例5）など

事例5：ペットボトルクーリング

ペットボトルにて製氷し、融け出した冷水を牛や豚の頸部に滴下することにより、全身の血流を冷やして熱性ストレスを緩和する手法です。低コストなことから、近年、利用する農場が増えているようです。

【作り方】

- ① ペットボトル（1.5～2ℓ）、割り箸、竹串、輪ゴムを用意する。
- ② 適当な長さに切った割り箸と竹串を輪ゴムで十字に縛る。
- ③ ペットボトル内に入れると、自然に開きます。
- ④ 水を入れ、冷凍庫で冷凍（できれば -20°C 以下）する。
- ⑤ ペットボトルを逆さまに吊るし、牛・豚の頸部に冷水が滴下するように設置します。分娩舎の母豚に使用する場合は子豚が濡れない場所に設置します。乳牛に使用する場合はこまめな除糞や送風を併せて行い、牛床が濡れることによる乳房炎誘発を防ぎます。



この手法により、豚で①受胎率の向上、②発情回帰日数の短縮、③周産期疾病の重篤化防止といった効果が認められている他、牛では体表温度が 2°C 低下するとの報告があります。

4 飼料給与法の工夫

冷水の十分な給与、涼しい時間帯に給餌、こまめに給餌して1回あたりの給与量を減らす、ビタミンやミネラルの添加 など

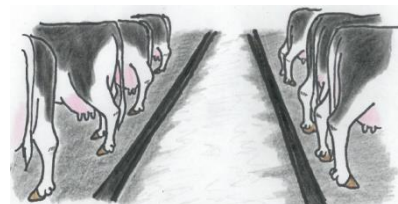
毎月1日は、「消毒・点検の日」です！

大家畜課・中小家畜課

岩手県では、平成26年から毎月1日を消毒・点検の日としています。病気の侵入を防ぐためには、地域全体の取組みが効果的です。定期的に、一斉消毒を行うとともに、日頃の消毒方法や実施状況を確認して、家畜の伝染病の侵入を予防しましょう。

1 消毒を徹底しましょう！

- 農場（施設）入口、通路、畜舎入口を消石灰で真っ白に！
- 踏込消毒槽の消毒液を交換しましょう！
- 畜舎周囲の環境整備（草刈、整理整頓等）を実施しましょう！



2 いつもの消毒の方法は適切ですか？

- 農場（施設）に出入りする車両の消毒は十分ですか？
タイヤ周りだけでなく、タイヤハウス、荷台、フロアマット、運転手の手指・靴の消毒をしていますか？
- 消毒の時期、回数は十分ですか？
- 消毒前の洗浄は十分ですか？
効果的な消毒には、排泄物など有機物の徹底除去が重要です。
- 使用する消毒液の濃度は適切ですか？



3 「やったつもり」をなくしましょう！

- 長靴の裏に、排泄物などが残っていませんか？
- 踏込消毒槽が、ただの水槽になっていませんか？
- いつ、誰が行ったか確認できるよう、記録がありますか？

自分では「やったつもり」でも・・・

お互いに、作業内容を確認するなどして、「やったつもり」をなくしましょう！



目次のキャラクター：岩手県3R推進キャラクター「エコロル」

岩手県では、ごみの減量化とリサイクルを推進するため、古くからある”もったいない”という知恵を活かし、Reduce（リデュース）：ごみの減量化、Reuse（リユース）：くりかえし使う、Recycle（リサイクル）：資源として再生利用する、の3R（スリーアール）に基づくライフスタイルの実践を呼びかける『もったいない・いわて3R運動』を展開していますのでご協力をお願いします。

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東館 41-1

岩手県南家畜保健衛生所

Tel 0197-23-3531

Fax 0197-23-3593

岩手県南家畜衛生推進協議会

Tel 0197-24-5532

Fax 0197-23-6988